

〈相双地方振興局長賞〉

税金と生活について

南相馬市立石神中学校 三年 高藤 凧沙

税金は私たちの生活に欠かせない大切なものだと両親から教えられました。中学生の私も税金の重要性を理解することが必要だと感じたことから、税金がどのように影響しているかを調べて、将来の社会人としての自覚を持つ必要があると考えました。

税金は国や地方自治体が私たち市民から集めるお金です。このお金は、公共の利益のために使われる事が分かりました。例えば、私たちが通っている学校も税金で運営されています。先生のお給料や中学校の維持費、教材の購入など、全て税金のおかげと言えます。もし税金がなければ、私たちは今のような教育を受けることができなくなるかもしれません。また、税金は医療や福祉にも使われていることが分かりました。病院での治療や高齢者の介護は、税金によって支えられています。私たちが安心して生活できるのも、税金のおかげだと言えます。医療だけではなく、道路や公園、警察や消防などの公共サービスも税金が使われています。そのため、私たちの生活は税金によって支えられていると言えます。

しかし、税金には問題もある事が分かりました。税金の使い道がはっきりしていない部分がある事や、不公平と思える部分がある事も分かりました。

そして、高齢者が増えると、税金が使われている医療や年金、介護など必要なお金が増えていくこととなりますが、今後、高齢者の生活を支える若い人の数は減っていくと予想されています。よって、少子高齢化は更に私たちにとってとても大きな課題になると考えられます。

私たちは、将来の納税者として、税金の使い道に関心を持ち、適切な使い方がなされているかを見守ることが大切です。そのためには、政治や社会の動きに関心を持ち、自分の意見を持つことが大切だと感じました。

税金は私たち一人一人が社会に貢献するための手段の一つだと感じました。税金を納めることは、自分たちの生活をより良くするために必要な事です。将来、私たちが大人になって働くようになったとき、税金を正しく納め、社会のために役立つ必要があると思います。そのためにも、今から税金について学び、理解を深めることが大切だと感じています。